



Release

フランクフルト・アム・マイン

2023 年 4 月 18 日

カール・フォン・ローア、ドイツ銀行の取締役会メンバーとしての契約更新をしない意向を固める

ドイツ銀行（銘柄コード XETRA:DBKGn.DB/NYSE:DB）のプレジデントであるカール・フォン・ローアは、2023 年 10 月末に満了する取締役会メンバーとしての現在の任期後にあたり、契約更新をしない意向を固め、監査役会に通知しました。

ドイツ銀行の監査役会会長であるアレックス・ワイナントは、フォン・ローアの功績について次のように述べています。「カール・フォン・ローアは、25 年以上にわたり、ドイツ銀行の発展に大きく貢献しました。取締役会メンバーとしての在籍期間には、ドイツ銀行を収益力がある、信頼される金融機関として立て直す上で大きな役割を果たしてきました。過去数年間は、プライベート・バンクを効率的かつ成長させることに成功しました。監査役会は、彼が 10 月末の契約期間満了まで、職務を全うすることを歓迎します。私たちは、彼の貢献に心から感謝の意を表するとともに、彼の今後の活躍を祈っています。」

ドイツ銀行の CEO であるクリスティアン・ゼーヴィングは、次のように述べています。「四半世紀超にわたって在籍したドイツ銀行を離れ、新たな道を歩むというカールの決断を尊重します。彼の素晴らしいパフォーマンスおよびドイツ銀行をさらに前進させるという揺るぎない意志に感謝しています。過去 8 年間、そして過去 5 年間はプレジデントとして、カールは、当行の改革の成功に貢献した強力かつ非常に信頼できるパートナーでした。彼のドイツ銀行への献身的な努力と協力は他の追随を許さないものであり彼と一緒に当行の基盤をさらに強固なものにするために残りの半年の時間を共に使いたいと思います。」

カール・フォン・ローアは、次のように述べています。「取締役会に 8 年間在籍し、ドイツ銀行の改革における多くの重要なステップを成功裏に終えた今、新たな道を歩むのにふさわしい時であると思っています。特にドイツ本国の市場において、ドイツ銀行の収益力があり、高い成長を可能にする確固たる基盤を取り戻すための自分の役割に大きな手応えを感じています。このようなことができたのは、私のこれまでの道のりを支えてくれた当行の多くの同僚たちのおかげです。彼らには心から感謝しています。10 月に契約満了を迎えるまで、私はドイツ銀行の継続的な成功を支えることにコミットし続けます。」

フォン・ローアは、1997 年にドイツ銀行に入行しました。2015 年に取締役会メンバーに就任し、当初は人事ならびに法務およびガバナンスを担当しました。2018 年 4 月にプレジデントに就任し、その後ドイツ銀行としてプライベート・バンク、2019 年 7 月にはドイツ銀行が過半数を保有するアセット・マネジメントを総括しました。フォン・ローアは、2018 年から DWS の監査役会会長を務めています。

ドイツ銀行は、カール・フォン・ローアの実任後について、近日中に最新情報をお知らせする予定です。

ドイツ銀行について

ドイツ銀行は、個人顧客、中小企業、事業法人、各国政府および機関投資家に対し、リテール・バンキング、プライベート・バンキング、コーポレート・バンキング、トランザクション・バンキング、融資および資産運用の商品およびサービスならびに焦点を絞った投資銀行業務を提供しています。ドイツ銀行は、欧州に深く根ざしつつグローバル・ネットワークを有するドイツ有数の銀行です。

本リリースには、将来の事象に関する記述が含まれています。将来の事象に関する記述とは、歴史的事実ではない記述であり、ドイツ銀行の考えや予想およびその基礎となる前提が含まれます。これらの記述は、ドイツ銀行グループの経営陣が現在入手可能な予定、推定および計画に基づいています。したがって、将来の事象に関する記述は、あくまで当該記述がなされた日現在のものであって、当グループはこれらの記述に関して、新しい情報や将来生起した事象があっても、これを更新して公表する責任は負いません。

将来の事象に関する記述は、その性質上リスクおよび不確実性を含みます。したがって、いくつかの重要な要因が作用して、実際には将来の事象に関する記述に含まれるものとは大きく異なる結果となる可能性があります。

これらの要因には、ドイツ、ヨーロッパ、米国および当グループが収益の相当部分を上げ、資産の相当部分を有するその他の地域における金融市場の動向、資産価値の推移および市場のボラティリティ、借り手または取引相手による将来の債務不履行、当グループの経営戦略の実施、当グループのリスク・マネジメントの方針、手続および方法への信頼性ならびに米国証券取引委員会（SEC）への情報開示に関連するリスク等が含まれます。

このような要因については、SEC に提出した当グループの 2023 年 3 月 17 日付年次報告書（Form 20-F）の「リスク・ファクター」の表題のもとで詳しく記載されています。当該文書の写しは、請求により入手可能であり、また www.db.com/ir からダウンロードすることができます。